

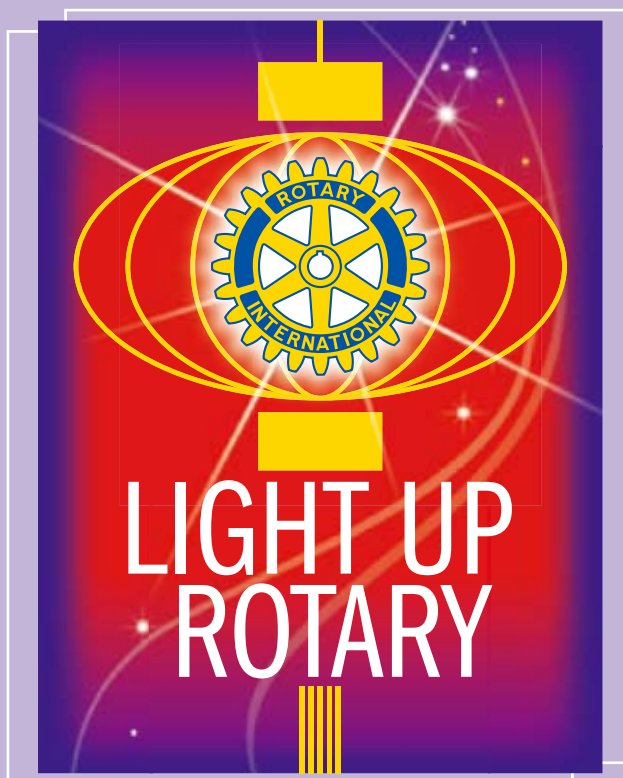
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 **3** 月号

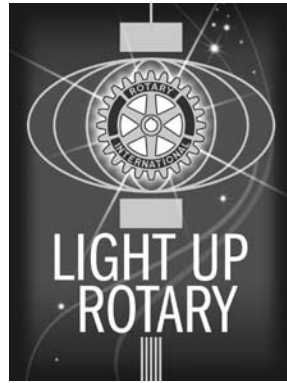
Vol.

9



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 3月号

CONTENTS

Vol.9

ガバナーメッセージ（識字率向上月間・世界RA週間）	1
世界ローターアクト週間にちなんで	2
国際協議会 報告	3
第4組 インターシティ・ミーティング 報告	4
第6組 インターシティ・ミーティング 報告	5
香港リネン大学ローターアクトクラブ受入事業 報告	6
ロータリー財団情報	7
ガバナー補佐が選ぶ 魅力ある奉仕活動（IM5・6組）	9
コーディネーターニュース	15
米山奨学委員会／ロータリー財団	16
2015年1月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

識字率向上月間および 世界ローターアクト週間にあたって 識字率の高さが日本を救った

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



識字率と言えば、日本の識字率の高さが、いろいろな場面で日本を救ったということが思い出されます。日本の識字率の高さは世界一です。識字率が高いということは、情報の伝達が早いということです。幕末において列強国の技術があつという間に広がり、日本は、列強の植民地になることを免れました。ただ単なる勤勉さや精神力だけではないはずです。敗戦後、アメリカのGHQは漢字を廃止して、日本の文字をアルファベットにしようとした。ただ、あまりの識字率の高さに、教育水準の高さに感嘆し、あきらめたわけであります。あの時、もし、アルファベットになっていたら、私たちのかばんの中は単行本ではなく、電話帳の様に分厚い本でいっぱいになっていたでしょう。

日本人が協調的と言われる理由の一つに、高い識字率で、情報を共有しているからではないでしょうか。

明治時代のベストセラーは福沢諭吉氏の「学問のすすめ」であります。実に人口3000万人の時、300万部出版されたとのこと。そして、「流行」もあつという間に全国に届く事となります。なぜ、日本の識字率が高いのでしょうか。それは、カナ文字があるからではないでしょうか。

まず、幼い子でもわかりやすい、カナ文字で文字になじむことが出来ます。文字で気持ちを伝える楽しさを早い時期に覚えます。皆さんも「ばばありがとう」「おかあさんありがとう」という手紙を、幼い子供からもらった記憶はあるでしょう。識字率や、就学率を向上させるためには、伝えたいという気持ち、学びたいという気持ちが大事であります。

単に、紙と鉛筆があればよいというものではありません。喜怒哀楽に満ちた文化、芸能を通じて、知りたい、伝えた

いという気持ちを起こさせることも大事ではないでしょうか。もちろん、紙も鉛筆もそれを実現するために必要ではあります。今、足元の日本の識字率は大丈夫でありましょうか。絵文字等が悪いというのではなく、思いを伝えなくてもよい、又は伝わらない、と若者たちが思うことが問題なのであります。

どうぞ、若者の思いを聞く状況を作って欲しいわけであります。識字率の問題は文字の形を知っているということではありません、文字を使ってどれだけのものを伝えられるか、ではないでしょうか。

世界ローターアクト週間

ローターアクトクラブがはじめて認証されたのは、1968年3月13日、アメリカのノースシャーロットロータリークラブがスポンサーとなったノースカロライナ大学のノースカロライナローターアクトクラブであります。この3月13日を「世界ローターアクトの日」と定め、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と指定されたわけであります。

当地区では、今年3月15日(日)に「世界RACデー」を行います。世界中で執り行われ、世界のローターアクターが連携をいたします。ローターアクターがロータリーの国際性を理解する場であります。ロータリアンの皆様も、ぜひとも、ローターアクトに対し、ロータリーの国際性を伝えて欲しいと思います。できれば、国際奉仕プロジェクトや、海外の姉妹クラブに連れて行ってほしいと思います。

「百聞は一見にしかず」であります。どうぞ、ローターアクターに様々な体験をさせていただきたいのです。日本の未来は彼らの肩にかかっているからであります。

世界ローターアクト週間に ちなんで

ローターアクト委員会 委員長

山本和良

(大阪南RC)



1968年3月13日に世界最初のローターアクトクラブ(RAC)が産声をあげ、その設立25周年を記念し、1993年にRI理事会は3月13日を含む1週間を、RCとRACの交流を促進する目的で「世界ローターアクト週間」に指定しました。当地区RACも「世界RAC DAY」と銘打って3月15日に地区行事を行います。

現在2660地区では280名余りのローターアクターが、19クラブに分かれ、クラブや地区で若者らしく元気ハツラツに活動しております。

私自身もRAC出身のロータリアンとして、今期の委員会方針にRACの目標の一つである「将来ロータリアンになり得る人を育てる」という理念を掲げ、ロータリーの倫理指針の「4つのテスト」に照らし合わせ、彼たちの活動を検証し指導しています。その目標も徐々に現実になりつつあります。事実、次年度は3名のRAC出身のロータリアンが、当委員会でRAC活動をサポートして頂ける事になりました。とてもうれしい限りです。

地区RACの活動としては、地区社会奉仕委員会と、インターアクトクラブと共同実施した「ロータリーファミリー合同地区献血」(7月・2月)に始まり、「全

国統一アクトの日」(9月)、「地区連絡協議会」(10月)、「海外研修(カンボジア)」(11月)、「4地区合同交流会」(12月)、「香港リネン大学RACとの事業」(1月)、「全国ローターアクト研修会(福島)」(3月)、「地区年次大会」(5月)、「リーダーシップフォーラム新人研修会」(6月)などを行っています。特に今年度は、5月のロータリーフェスティバルでも、テントブースの運営と献血を実施します。その他にもRYLAやニコニコキャンプのお手伝い、また地区社会奉仕事業の「大和川・石川クリーン作戦」にも、2640地区のRACと共に参加します。この様にロータリーファミリーの機動部隊として一年中走り回っており、今やロータリーの事業に必要な不可欠な存在に成長しました。彼たちも活動を通して多くの事を学び、ロータリーの精神を身に着けた若者に成長しつつあります。

RCの将来を考える時、そして日本社会の未来を考える時、青少年奉仕の大切さを改めて実感します。ロータリアンの皆様にも、その必要性をご理解頂き、RACはじめ青少年関連のプログラムに対して、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



国際協議会 報告

ガバナーエレクト **立野 純三**
(大阪RC)

万が一があってはダメなので、一日早い17日(土)にロサンゼルスに到着し、18日(日)朝7時30分頃にロサンゼルスを出発。約2時間弱で目的地カリフォルニア州サンディエゴ市マンチェスター・グランドハイアットに着きました。

当日18:30より本会議と晩餐会がスタート、ロータリー加盟国の国旗紹介を、インターアクトとロータリーアクトにより非常にスマートに行われました。アメリカ、台湾、スリランカの国歌が演奏され、感動的でした。

2015年国際協議会主催者ゲイリー・C・K・ホアンRI会長の挨拶。食事に関しては、行く前から数人のPGに、食事はあまり美味しくなく、同じメニューで飽きると聞いていたので、何が出てくるのか興味を持っていたのですが、美食家ではありませんし疲れていたのもあって、あまり食欲はわきませんでした。

後半に2015~16年度テーマ講演を、K・RラビンドランRI会長エレクトが行われました。2015~16年度ラビンドランRI会長のテーマは「世界へのプレゼントになろう(Be a gift to the world)」です。協議会中の同時通訳は男女2人でしたが、男性の通訳がとぎれとぎれで訳されるため、時差ボケも手伝って内容全体があまりよく理解出来ませんでした。

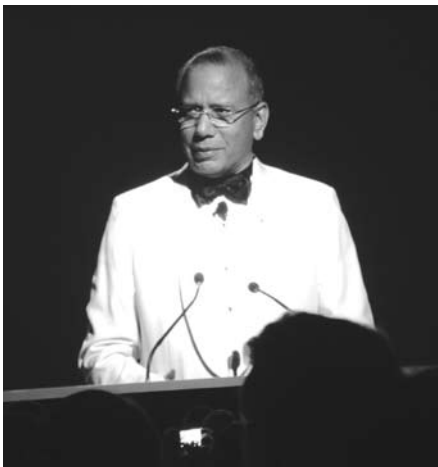
簡単に一週間のスケジュールをお話させていただきます。

1月19日(月)	
8:30~ 9:45	アイデア交換 ロータリーのロードマップ
9:45~10:15	休憩
10:15~11:15	ワークショップ クラブへの支援
11:45~12:15	本会議 ポリオの最新情報
12:15~14:10	食事・休憩
14:10~15:00	本会議 なぜロータリーなのか
15:15~16:15	アイデア交換 ロータリーのストーリーを伝える
16:15~16:45	休憩
16:45~17:30	アイデア交換 リソースを活用して解決を促す
18:00~	食事

大体このようなスケジュールが最終日の1月23日(金)まで6日間続きました。

国際協議会の印象は、本会議は世界中のロータリアンが集まるのですが、セッションになりますと、日本人と韓国人だけは、日本人、韓国人それぞれの国のRI研修リーダーにより母国語でテーマが進められました。

RIは、これだけIT利用を奨励している割には、日本人だけを集め、ロータリーを理解させるというのは無駄に思いましたし、もっと世界のロータリーが何をしているのか知ればと思いました。以上がサンディエゴ国際協議会の報告です。



第4組 インターシティ・ミーティング 報告

東大阪西RC 会長 柳山 稔

IM実行委員会 委員長 吉江 純
(東大阪西RC)

テーマ：健康

ホストクラブ：東大阪西ロータリークラブ

開催日時：2014年11月17日(土)

開催場所：シェラトン都ホテル大阪

参加人数：154名 / 378名

本年度第4組インターシティミーティングは、テーマを『健康』とし、泉ガバナー、井川ガバナー補佐をはじめ多数のロータリアンの皆さまにご参加いただきましたことを大変うれしく思います。

さて、今年度は実行委員長の、我々人は四苦、生老病死という言葉があるように、いろいろな苦勞を背負いながら生かされている。自身が関知するところでないところで生まれ、育ち、生きとし生ける者、年に従って老いていき、知らず知らずにして病に侵され、有終の美を飾るという人生をお過ごしになるでしょう。我々は生きている間は健康で、しかも健全な生活を過ごしたいというのが私をはじめ皆さん方の本当の気持ではないかとの思いから、テーマを「健康」とさせていただきます。

基調講演はタレントの青芝フック氏により、その「健康は笑いから～青芝フックの健康講座～」として、齒に衣着せぬ現代風刺から業界裏話まで、多岐にわたるユーモアたっぷりのお話をはじめとして、健康でなければ笑いは出ない、健康でなければ幸福では

ない、笑い、健康、幸福は一体であるご講演いただきました。会場は大いに盛り上がり、その後における和気あいあいとした雰囲気を作り上げていただいたことに感謝致します。

続いて、今回は第4組各クラブよりご代表様1名をご選抜頂き、皆様より「健康」をテーマにした発表を行っていただきました。38歳から89歳までの幅広い皆様からのご自慢の健康法など、興味深いお話をお聞かせいただき、その場すべてのロータリアンが刺激を受けることができる素晴らしいご発表ばかりでした。

インターシティミーティング終了後は同ホテルにて懇親会を開催し、多くの皆さまにお残りいただきました。会場では笑顔の絶えない、楽しいひと時と第4組のロータリアン相互の交流を深めていただけた良い場となったと感じております。

結びに、今回のインターシティミーティング開催にあたりまして、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げ開催報告とさせていただきます。



第6組 インターシティ・ミーティング 報告

先月号掲載の本記事で、花原委員長のお名前に誤りがありました。
お詫びして再掲いたします。

IM実行委員会 委員長 **花原 昭弘**
(新大阪RC)

ホストクラブ：新大阪ロータリークラブ

日時：平成26年10月18日(土) 13:00～17:00

場所：コングレコンベンションセンター ホールA(グランフロント大阪 北館 B2F)

参加人数：199名

IM全体のテーマ：日本の良さを世界のロータリアンに

講師：竹田恒泰氏

講師テーマ：いっしょに学ぼう日本の心

新大阪RCは今期30年目でもあり、団結して意義のあるものを皆で考えたいと思い、特に8月9月10月はIMづくしの月間となりました。

当日までの間、チャーターメンバーである花原IM実行委員長のもと、講師との打合せから始まり、パンフレットの作成・進行案・行動マニュアル・案内受付係・書籍販売・ご来賓の接待・救援係・会長をはじめ役員の挨拶準備・ソングリーダー・司会等を15回の委員会の開催及び卓話の時間を使って3度のリハーサルを致しました。

今回のインターシティミーティングのコンセプトは「会員増強」でありました。ロータリアンではない友人を各クラブ5名以上参加してもらい、ロータリークラブをよく理解してもらい会員増強に結び付けていただくことであります。

開催当日、第一部では竹田恒泰氏の講演。①東北大震災の後、日本人が変わった、②「世のため人のため」これが日本人の働く心、③神話と歴史を教えない国は滅びる、④建国の成り立ち、天皇・日本の歴史の教育がない、⑤GHQが日本の武装解除

とともに戦前の教育を変えて日本人を骨抜きにした、⑥古事記について等、日本はどの国よりも素晴らしいものがあり、それらをよく理解して日本を良い方向にかえていかなければいけないとの熱弁に感動いたしました。

第二部では、各クラブ活動事例発表を行いました。今まで行ってきた自慢の行事等の写真をスライドに写し、クラブの代表者の方に説明をしていただきました。

例えば姉妹クラブとの行事・清掃活動・様々な施設でのイベント開催や招待・周年行事・音楽会・同好会などなどそれぞれ個性的で面白く楽しい内容がたくさん発表されました。

ほとんどの方はメイクアップで例会に参加したことがあるが、大きな行事は何をしているか知らないという方が多かったようで、今後の活動のヒントになればと思いました。

また、各クラブの代表の方も個性的でとても楽しくわかりやすい説明が会場を和やかな雰囲気にしていただきました。



2014-2015年度 香港リネン大学RAC受入事業 報告

地区RA代表 **北島一平**
(大阪御堂筋本町RAC)

2015年1月10日(土)~11日(日)の2日間、香港リネン大学RACのローターアクター 22名を受け入れました。

活動内容

- 1月10日(土)
終日 児童養護施設 生駒学園 訪問
夜 十日戎(今宮戎神社参拝)
- 1月11日(日)
午前 児童養護施設 遙学園 訪問
午後 阿倍野防災センター訪問

香港リネン大学RACは「Poor Children」をテーマに活動し、マレーシア等海外へ訪問し奉仕活動を行なっています。今回はリネン大学RAC会長のPhilip氏より、大阪での児童施設での共同奉仕活動の依頼がありました。また中長期計画の一つでもある国際奉仕+社会奉仕の規模拡大のきっかけ作りであると考え、今回の事業を開催しました。

児童施設は東大阪みどりロータリークラブの杉森様、箕面ロータリークラブ様にご紹介頂きました。

施設では広東語や英語の勉強、中国の伝統的なお菓子作り、アイスの棒を使ったブックマーク、ペン立て作り等様々なイベントを行い、あっという間に時間が過ぎていきました。様々な理由から施設で生活している子供達ですが、とても人懐っこく私達も元気を貰いました。

活動の中では、「生駒学園」の竹田理事長・主任指導の小田様、「遙学園」の村井園長から、要望を伺う時間がありました。

- ①子供達が外に出る場を増やしたい
 - ②継続的に子供達との交流を図って貰いたい
- というものが主な要望でした。

今までとは違った雰囲気を感じながら交流する事ができ、第2660地区全体に活動報告をする事で多くの人に知ってもらえると嬉しい限りです。

1月11日(日)の午後は大阪府立阿倍野防災センターにて、地震や火事などの災害が起こった際の対処法、救急措置などを学びました。阪神淡路大震災や東北地方太平洋沖地震の震度を肌で体感し、人命救助や消化器の使い方等を勉強する良い機会となりました。香港リネン大学RACメンバーは、これまで地震等の災害を体験した事がなく、このような施設も香港にはないとの事で、とても興味深く勉強になったと話していました。

今宮戎神社参拝、2回の懇親会を通じてアクター同士が積極的にコミュニケーションを取り、かけがえない仲間を作ることができました。この繋がりを今後も継続していきたいと考えています。

今回は香港リネン大学RACの提案で児童施設を訪問しましたが、今回限りの事業にするのではなく、今後2660地区の事業として、またサポートシステムの共同奉仕活動として継続していきたいと考えております。

今回の出会いを大切に、そしてきっかけにし、第2660地区をさらに盛り上げていきたいと思っております。東大阪みどりロータリークラブの杉森様、箕面ロータリークラブ様、児童施設を紹介して頂きありがとうございました。



ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑 正信

(東大阪東RC)

【会員基盤向上セミナー】

例年、次年度の財団活動に向けての研修は、「国立オリンピック記念青少年総合センター」にて開催されていましたが、今年度は日本ロータリーチームとして、3月30・31日に開催される会員基盤向上セミナーの2日目に、“ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践の部”として下記の通り開催されます。

2014~15年度ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニ、2014~15年度および2015~16年度TRF管理委員、RRFC、ARRFC、EPNC、E/MGA、地区会員(増強)委員長、地区広報(公共イメージ)委員長、地区ロータリー財団委員長、地区ロータリー財団副委員長、地区財団小委員長(資金推進・補助金・VTT・奨学基金・学友・平和フェロー・ポリオプラス・資金管理)が出席します。

日時：2015年3月31日(火) 10:00~16:00

場所：ホテルオークラ東京別館

セミナー：アスコットホール(地下2階)

【ロータリー財団の資金モデル】

2015年7月1日から実施される資金モデルについて、導入の経緯やどのような影響があるかわかりやすく説明された簡単なビデオができました。

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/member-news/leaders-talk-about-rotary-foundations-funding-model>

ロータリー財団の新しい資金モデル：知っておくべき10のポイント

寄稿：イアン・ライズリー、ロータリー財団管理委員、財団財務委員長

1. ロータリアンとクラブにとっての重要性

新しい資金モデルは、現在だけでなく、これからもずっとロータリアンの活動を支えていくための財源を確保することが目的です。財団の方針は、3年分の運営費に等しい運営準備金を維持することです。

2. ポリオプラス基金への寄付に一切影響はありません

3. 恒久基金への寄付に一切影響はありません

4. 地区財団活動資金(DDF)に一切影響はありません

5. 必要な場合には、年次基金への寄付の5%が、国際財団活動資金(WF)から運営費(または運営準備金)に充てられます

今後も引き続き、年次基金への寄付は、3年間の投資期間を経た後で、50%がDDF、残り50%がWFとなります。ただし、投資収入で十分な運営費を賄えない場合、あるいは運営準備金が十分なレベルに達していない場合には、年次基金への寄付の5%に相当する資金が、WFから運営費に充てられる場合があります。運営費に充てる必要がない場合には、この5%はWFとして残り、通常のWFと同じように補助金に使われます。

6. グローバル補助金への現金拠出の5%が運営費に充てられます

7. 法人寄付の最大10%が運営費に充てられます

8. ロータリアンにしっかりと情報を伝えるためのプランを立てています

9. 研修と資料を準備しています

現在、地区とクラブの役員と委員会のための研修資料に加え、ウェビナーやEラーニング資料を作成中です。詳しくは、fundingmodel@rotary.orgまでお問い合わせください。

10. 財団は資金管理と透明性を大切にしています

【2014-15年度半期寄付状況】

2014-15年度半期を終えて、12月までに9,868,183ドルのご寄付がありました。

下記に今年度12月までの日本の寄付状況および、昨年同時期の数字を示します。今年度の寄付は前年度比で101%となっています。

※年次基金寄付ゼロクラブは、12月末現在の数字となっています。

年度	合計 寄付額	年次基金	一人あたりの 年次基金寄付額	年次基金寄付 ゼロクラブ
2014-15	\$9,868,183	\$7,756,641	\$89.39	421
2013-14	\$9,784,151	\$7,226,801	\$84.00	497

今年度の日本の目標は以下の通りです。目標を達成できるよう後半も皆様のご協力をお願いいたします。

- ◆ 年次基金
 - ・ 1人当たり150ドル
 - ・ 全てのクラブが寄付をし、寄付ゼロクラブをなくす
 - ・ ポール・ハリス・ソサエティを推進する。
- ◆ ポリオプラス基金
 - ・ クラブ1,500ドル
 - ・ 地区DDFの20%の寄贈
- ◆ 恒久基金
 - ・ 1地区5-6万ドル日本全体180万ドル
 - ・ 大口寄付（一括1万ドル以上）
1地区2-3件の発掘

【ナイジェリア、ポリオ撲滅の達成が間近に】

2015年国際協議会開催中の1月19日、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）で研究に携わる、WHO（世界保健機関）のハミッド・ジャファリ氏は、ナイジェリアでのポリオ撲滅が間近に迫っていると発表しました。アフリカ唯一のポリオ常在国である同国では、2013年から2014年にかけてポリオ感染数が53件から6件に減少し、過去5か月での感染は報告されていません。

ただし、アフリカでの撲滅活動が完結したと安心感をいただくのは誤りだとジャファリ氏は警告します。今後も活動を続けていく必要性を訴えると同時に、ロータリーの貢献に感謝の意を表しました。

【ポリオ症例数】

2015年2月3日現在のポリオ症例数です。

	2015年1月1日~2月3日	2014年
アフガニスタン	0	28
バキスタン	6	305
ナイジェリア	0	6
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	0	5
イラク	0	2
エチオピア	0	1
カメルーン	0	5
ソマリア	0	5
シリア	0	1
世界合計	6	358

【ロータリー平和フェローシップの申請】

応募者から地区への申請書提出締切は5月31日、地区からロータリー財団への提出締切は7月1日です。地区はDDFの寄贈にかかわらず、何名でも候補者を推薦できます。

【グローバル補助金日本の参加状況】

地区別・活動の種類別 2013年7月から現在までの承認。2015/1/19

地区	奨学金	人道的	VTT	人道的+VTT	計
2500		7		1	8
2510		1			1
2520	3	2			5
2530		1			1
2550		1			1
2560	2	2			4
2570	3	1			4
2580	5	1			6
2590	2	2			4
2600	1				1
2610	2				2
2620	1	2			3
2630		1			1
2640		1			1
2650	1	2			3
2660	3	7			10
2670	2	1			3
2680	3	2	1	1	7
2700	2				2
2710	2	3		1	6
2730	1				1
2740	1		1		2
2750	8	3			11
2760	1	4	1		6
2770	4	6	1		11
2780	5	2	1		8
2790	2	5			7
2800		1			1
2820		2	1	1	4
2830		1			1
2840		2			2
計	54	63	6	4	127

ガバナー補佐が選ぶ 魅力ある奉仕活動

IM第5組 ガバナー補佐 緒方 満

(大阪北RC)

大阪中央RC 「障害者の支援活動とロータリーデー」

当クラブでは、2009年から社会奉仕活動として大阪市の「舞洲障害者スポーツセンター」が主催する「新年の集い」を協賛しています。今年も、RACメンバーと一緒に、バザーを開催してその売上を当センターに寄付するとともに、正月遊びとして「お絵描きコーナー」を設置し

たり、「おたのしみ抽選会」に賞品を提供するなどして、障害者の方楽しんでいただきました。今年は、これに合わせて、当クラブのロータリーデーを開催し、当クラブの幟をたてるとともに、全員が赤いブルゾンを着用して、ロータリークラブの公共イメージの向上に努めました。



大阪堂島RC 「ネパール女性教師の育成活動の支援」

当クラブは数年前から日本ネパール女性教育協会の活動を支援しています。ネパールでは地理的状況やカースト制度のなごりから地方の村の女子教育がなごりになっているため、地方出身の女性に2年間寮生活をさせながら教師として育成し、その後何年間か出

身地に帰し、後進の子女の教育に従事してもらうという活動の支援です。平成26年11月には当クラブの会員がポカラのさくら寮を訪問してピアノ10台を寄贈したり、寮を卒業して東京に留学中の女性教師の卵を12月のクリスマス例会に招待して交流を深めました。



大阪北RC 「社会奉仕継続事業 ライフケア中津慰問会」

11月19日(水)に、社会奉仕委員会の継続事業である「大阪府済生会中津医療福祉センター ライフケア中津」への慰問を開催致しました。例年通り、童謡・唱歌など約3か月間の練習の成果をいかに発揮し、入所者の皆様と共に、10

曲程度合唱致しました。入所者の皆様には一時の心の安らぎをお送りできたかと思えます。

この事業は2006年より開始し、今年度で9回目となります。今後ともご期待にお応えし継続していく所存です。



大阪北梅田RC 「特別支援学校へ授業備品充実支援の為の事業」

大阪北梅田ロータリークラブでは、大阪市立東住吉特別支援学校の重度障害生徒へ視覚的・聴覚的アプローチ、筆記が困難な生徒のプリント代替教材、発語が困難な生徒のコミュニケーションツールとしてタブレット端末12台(Wi-

Fiモデル)を寄贈しました。

10月に表敬訪問し、授業を見学致しました。生徒達が端末を使用した授業を受けている姿を見て一同感動しました。

またこの事業に対して大阪市長より感謝状を戴きました。



大阪西RC 「フィリピン・マングローブ植樹事業」

11月末、FVP地区補助金を利用してフィリピン・バターン州パラング沿岸部で、地元のボランティアあわせて約50名と4000本のマングローブの苗を植え、またカニの稚魚の放流もおこないました。

マングローブ林は潮の影響を受

ける浅瀬にあり急速に減少を続けており、その回復は重要な課題となっています。

今後もこのマングローブの成長を現地のロータリアンとともに見守り続けていきたいと思ひます。



大阪大淀RC 「台湾での山地における飲料水の供給プロジェクト」

台湾・台北中正ロータリークラブとのタイアップでグローバル補助金を申請しております。

実施地は三地門郷地区で現地は地質的に土壌が悪く、サルモネラ菌を含んだ水源を飲用することにより大腸菌に冒される可能性が高いた

め、改善が求められております。

その為、大規模に山の湧き水の貯水タンクを設置することにより、汚染水によるリスクの大幅な低減を目的としております。

補助金として、RI3520地区・RI2660地区のDDFを活用致します。



大阪リバーサイドRC 「宮城県石巻市立雄勝中学校に向けての支援」

地区補助金・IM5組複数クラブのご協力の基に2014年10月3～5日の2泊3日、雄勝中学校全校生徒24名、引率教員5名、合計29名のUSJへの招待旅行を実施。楽しかった思い出と「これからも頑張ります」の言葉と共に無事終了。

まだまだ道半ばの大震災の復興が遠く離れた人々に忘れられているのではないかという不安を持つ子供達が、決してそうではない事を実感し、苦難を越え人々への優しさを持つ大人への成長を念じてやみません。



大阪西北RC 「タイへの腎臓透析器の寄贈」

当クラブのツインクラブ、バンコク・クロムトイRCと日本の3クラブが共同で、もう10年になりますが、WCS事業として今年はタイ・チェンマイ県の病院に腎臓透析器の寄贈式典に参加してきました。200名ほどの市民が参加、看護師や関

係者の表彰など、盛大な式典と病室の見学、昼食のおもてなしなどを通じ、まだまだ機材が不足している実情を痛感しました。

永年にわたる事業の継続と、現地メンバーとの深い交流こそがWSCの意義を感じています。



大阪そねざきRC 「東日本大震災復興支援チャリティコンペの開催」

第4回となる今回の開催、支援先の選定より始め、交友関係にある気仙沼RCと連携し、最も現在必要とされていた気仙沼市立大島小・中学校へ放送機材を寄贈することとしました。

11月8日に 約120名の参加者を

集い、そねざきRC会員の参加（メンバー集め・景品の提出等）を持ってチャリティコンペ開催。

11月22日、大島小・中学校へ行き放送機材の贈呈式を行い、感謝状を受け取りました。



大阪梅田RC 「府立支援学校に対する奉仕活動」

7月9日、甲子園の阪神・広島戦に東大阪・岸和田各支援学校の生徒ら82名を招待し、9月16日、大阪ドームのオリックス・ソフトバンク戦に堺・高槻・交野・吹田各支援学校の生徒ら90名を招待しました。

会員の会社にて9月24日から3日

間、5名の生徒がコンピューター操作の職業実習を行ったほか、会員が紹介したスーパー、外食産業においても職業実習を実施しました。

11月18日、高槻支援学校において移動例会を行いました。



大阪梅田東RC 「秋の家族旅行会」

11月16日に参加者20名での恒例の家族旅行会、天気にも恵まれ生国魂神社-黒門市場-道頓堀川(クルージング)-レストラン・スワンにてセルフサービスのバーベキューのコースで楽しみました。

生国魂神社では正式参拝、お祓

いを受け、玉串奉奠し、我が梅田東RCの益々の発展とロータリーメンバー全員の職業繁栄と健勝を確りと祈願しました。

改めてお互いの友好を深めることが出来、とても良い一日になりました。



大阪ユニバーサルシティRC 「ロータリークリスマス in USJ」

当事業は毎年12月にUSJにて、両親と離れて暮らさざるを得ない施設の子供たちと親代わりとして一日一緒に過ごし、子供たちの健やかな成長に少しでも貢献しようという活動です。

当クラブの設立趣旨から、USJと

連携し地域に貢献できる事業作りを目指し、設立時より継続し平成26年で13回目となりました。

他クラブロータリアンを初め、この事業に賛同して頂いている多くの方々にもお手伝いを頂き参加者120名の事業に成長しました。



IM第6組 ガバナー補佐 戸田和孝

(大阪東淀ちゃやまちRC)

大阪RC 「宮古・大阪みおつくし奨学金制度」

クラブ創立90周年事業として設立された制度。100周年(2022年)までの10年間の継続事業で、宮古東RCの協力を得、毎年2名の大学生に毎月5万円の奨学金を4年間授与するという制度です。

原資は会員による“みおつくしニ

コニコ”の協力金。東日本大震災後、会員が現地を訪れ、何か支援事業はできないものかと検討の結果、この事業を立ち上げました。

毎年、会長・幹事・担当委員会メンバーが現地において、奨学金を贈呈、交流を図っています。



大阪東RC 「ベトナムの貿易大学ハノイ校の学生に対する奨学金給付事業」

大阪東RCは本年度、新たな国際社会奉仕活動として、ベトナムの貿易大学 (Foreign Trade University) ハノイ校日本語学部の学生に対する奨学金給付事業を開始しました。奨学生が将来、日本とベトナムとの間の架け橋となることを期待しています。

地区補助金3000USドルに大阪東RCの

国際社会奉仕基金3000USドルを加え、合計6000USドルを年間20名の学生に1人300USドル給付します (FTUの年間平均授業料が約300USドルだそうです)。

ベトナムは社会主義国であり、RCが存在しませんので、その意味でもRCの国際社会奉仕活動として注目すべき事業と言えます。



大阪東淀ちゃやまちRC 「児童福祉施設“博愛社”への奉仕」

色々な理由で親と離れて生活せざるを得ない子供たちのための施設“博愛社”に対して、毎年、元・阪急ブレーブスのプロ野球OBたちを招き、会員も一緒に野球教室を開催しています。

まだキャッチボールもままならな

い子供から、大人顔負けの球を投げる小学上級生までを、元プロ野球選手が3班に分かれて指導します。その甲斐あってか、関西のリーグでも好成績を収めること多々、まさに汗を流す奉仕ですが、会員も楽しんでます。



大阪城東RC 「日本ライトハウスチャリティコンサート支援」

30年近く行われている盲導犬同伴可の視覚障碍の方を支援するコンサートを積極的に支援しています。

今回はシンフォニーホールに千里フィルを招き、全盲のバイオリニスト和浪孝禧氏による演奏など、内

容の濃い音楽会になりました。

地元の中学校の吹奏楽部50人をこの演奏会に招待しています。

その他、定時制高校の勤労学生への表彰制度、出前授業など、地元との繋がりを大切にしているのも、このクラブの特徴です。



大阪中之島RC 「人道的国際社会奉仕活動」

三世代合同事業として、大阪天満RC、大阪大手前RC、大阪中之島RCと柳生の里・成美学寮に大型TVを寄贈、又餅つき大会を行い奉仕を通じて寮生と親睦を図りました。

東北支援事業はスポーツ用品、楽器等を寄贈し、国際支援に関して

は、ベトナム郡立病院に13年間医療機器を寄贈し、姉妹クラブ台北福齡RCの奨学生支援事業に参加し、識字問題に関し姉妹クラブとの共同提唱クラブとしてTRFにグローバル補助金を申請し、この度認可がおりました。



大阪大手前RC 「石巻市への支援」

東北石巻市でボランティア活動をしている団体に対し、昨年度から2年続けて震災復興支援をしています。仮設住宅等の建設で公園などが使えず、子供たちの遊び場がなくなってしまったので、その団体が倉庫を借りそこに子供から大

人までが遊び・集える場所を新しく造られました。

まだまだ整備が必要とのことで、今回建物の整備、遊び道具の整備、トレーニング機器の整備などに対し地区補助金と合わせて支援させていただきました。



大阪城北RC 「淀川クリーンキャンペーン 淀川・城北ワンドの環境を取り戻すために」

大阪市旭区の貴重な資源である淀川を守るため、毎年10月に開催される大阪工業大学と地域が連携した「地域みんなで淀川・城北ワンドの環境をまもろう」をテーマとするこの事業に協賛しております。

大阪工業大学の学生、教職員、

地域住民の方々など800人が参加し今回で8年目です。城北ワンドは貴重な在来種である天然記念物のイタセンパラ等の貴重な生態系を守り育む場所です。地域の方々と一丸となり、本来の自然に戻すべく参加させて頂いております。



大阪天満橋RC 「RAC活動への支援」

RACを持つクラブとして、その活動への支援と理解を深める活動を展開しています。

天満橋駅付近の川辺を清掃する「クリーンハイク事業」は年に2～3回のペースで実施し、天満音楽祭へのボランティア協力、台湾陽

明RACとの交流と共同事業に対する助言・支援等を行っています。

RACの例会や遠足へのロータリアンの参加を促すほか、RACを持たない近隣クラブに対して、RAC活動の啓発にも力を入れていく方針です。



大阪鶴見RC 「アーモンドの森をつくる」プロジェクト」

創立30周年記念事業の一環として、大阪市鶴見区にある鶴見緑地公園内の自然を、地元地域の皆様と共に大きく育て、自然や生命の大切さを子供たちの世代に引き継ぐことを目的に、2014年に子供た

ちを含め地域の皆様と30本の苗木を植樹しました。

今後5年間、地域の協力を頂き、100本以上の植樹をして、大阪一の名所となることを目指します。



大阪淀川RC 「サモア共和国への奨学金支援」

大阪で国際大会が開催された時に知己を得た会員がその後サモアの現地を訪問、台風被害を目の当たりにし、向学心を持ちながら就学がままならない児童のために何か奉仕活動ができないものかと立ち上げたのがこの独自の奨学金制

度です。

10年以上にわたるこの奨学金のおかげでたくさんの子供たちの未来が開けました。子供たちからの心のもった感謝の手紙はクラブの宝物でしょう。今年6月には現地を訪問する予定です。



新大阪RC 「トルコへの水供給事業」

前年度に着手したトルコ・コサカ村の飲料水供給事業は30周年事業の核として、現地のサムスンRCと協力して行われています。

RIの重点分野の一つ“水と衛生”に関連するこのプロジェクトは、今年6月の上水道設備完成をもっ

て一区切りがつかます。

その他、大阪府整枝学院の夏祭りへの参加、ひたくり防止キャンペーンの実施、東淀川区民まつりへの参加など、IMと30周年事業が重なり大変な中の活発な活動には敬意を表します。



コーディネーターニュース

第3ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー 報告

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐

大之木 精二

(呉RC)

第3ゾーンでは昨年10月に、杉谷RI理事ご出席のもと下記日程により標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

日時：2014年10月11日(土) 11:00~16:00

場所：広島市

対象：DG・GE・GN・AG・地区関係委員長

テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び
会員基盤の充実と公共イメージの向上

出席：60名(ゾーン関係者共)

グループ6卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意見集約を次の通り記述します。

【ロータリー戦略計画】

- 地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々2割程度で、それも十分機能しているとは言えない。
- クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあってこそ可能との観点より、先ずは地区戦略計画(委)の指導力を高め、クラブの戦略計画推進に尽力する。
- 地区・クラブ共中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。
- 関連的にCLPの実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべきである。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

- 昨今人数に執着する余り、増強の真意(クラブ強化)の視点が欠けている傾向がある。
- 全国一律の数値目標を示したり、常套的手法を奨励するのは如何なものか。
- クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実な実施が肝要である。
- ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。
- 既存会員が更なるロータリー学習と実践を深めて、高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に繋がる。
- 人口減少の社会構造変化に対応して、クラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併による基盤強化も積極的に検討すべきである。
- Eクラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。
- 増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 12月末 全国寄付金合計額	864,625,609円	(前年度比3,830万円増)
第2660地区寄付金合計額	61,467,850円	(前年度比10.74%増)
全国寄付合計トップ10		
1. 第2650地区	64,580,734円	6. 第2760地区 47,227,220円
2. 第2660地区	61,467,850円	7. 第2690地区 38,436,890円
3. 第2750地区	50,954,570円	8. 第2580地区 33,875,482円
4. 第2590地区	49,613,940円	9. 第2820地区 33,594,000円
5. 第2770地区	49,534,417円	10. 第2780地区 33,056,000円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2014年12月)。

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
對馬 康全	1	茨木東RC	田中 浩	6	大阪うつばRC	木村 和雄	1	大阪鶴見RC
富田 利一	5	交野RC	中西 克巳	7	大阪うつばRC	癸 剛士	27	大阪鶴見RC
盛岡 建吉	1	香里園RC	山田 和義	7	大阪うつばRC	山本 良一	2	大阪鶴見RC
小林 道明	1	香里園RC	住吉 誠	1	大阪ネクストRC	井上 修一	2	大阪鶴見RC
川脇 健	1	高槻RC	齋藤安以子	1	大阪ネクストRC	広瀬 芳和	2	大阪鶴見RC
西井 忠義	2	高槻西RC	山本 誠	4	大阪咲洲RC	中嶋 英貴	4	大阪鶴見RC
間石 成人	2	高槻西RC	高松 伸伍	4	大阪咲洲RC	佐藤 俊一	5	大阪鶴見RC
森本 榮三	2	高槻西RC	荒石義一郎	6	大阪咲洲RC	山田 和義	2	大阪南RC
福田 治夫	11	守口イブニングRC	岡部 泰鑑	6	大阪城南RC	東村 正剛	1	大東RC
横山 永知	1	守口イブニングRC	西村 孔邦	1	大阪西南RC	谷中 清孝	5	大東RC
山中 昇司	1	守口イブニングRC	花房 雅博	1	大阪西南RC	加藤 敏明	5	大東RC
元古 隆司	1	守口イブニングRC	八崎 純一	1	大阪西南RC	川西津音夫	2	大東中央RC
佐々木 誠	2	守口イブニングRC	及川 隆明	2	大阪西南RC	池田 文治	2	大東中央RC
伴 範子	2	守口イブニングRC	阿部 恭三	2	大阪西南RC	岡根 修司	1	東大阪RC
藤井 良郎	2	守口イブニングRC	繁野 光一	2	大阪西南RC	村岡 万功	6	東大阪RC
金崎 正明	2	守口イブニングRC	村山 廣甫	3	大阪西南RC	阪田 克英	2	東大阪みどりRC
小林 澄子	2	守口イブニングRC	梅本 禎親	4	大阪西南RC	浜田 秀雄	2	東大阪みどりRC
政 旬一	2	守口イブニングRC	高谷 晋介	4	大阪西南RC	島 啓介	2	東大阪みどりRC
大島 栄子	2	守口イブニングRC	増田 康次	4	大阪西南RC	山本 昌宏	2	東大阪みどりRC
吉岡 章夫	2	守口イブニングRC	村井 史郎	5	大阪西南RC	近藤 力	14	東大阪中央RC
岸田 唯志	2	守口イブニングRC	森下美恵子	5	大阪西南RC	岩橋 竜介	1	東大阪中央RC
樋上 重夫	3	守口イブニングRC	青木 達也	6	大阪西南RC	細川 勝治	3	東大阪中央RC
新原 健市	3	千里RC	栗原 裕	1	大阪船場RC	岩崎 史郎	3	東大阪中央RC
木下 健治	1	千里メイプルRC	中村 一	1	大阪船場RC	浅野 光男	4	東大阪中央RC
柳原 健治	3	千里メイプルRC	松谷 廣信	2	大阪船場RC	宮田 照男	6	東大阪中央RC
山下聰一郎	3	千里メイプルRC	辻 幸雄	11	大阪中央RC	出原 正秀	6	東大阪中央RC
小山 富夫	3	千里メイプルRC	室井 良樹	3	大阪中央RC	坪倉 修吉	6	東大阪中央RC
岸上 和典	4	千里メイプルRC	横山 守雄	8	大阪中央RC	百濟 洋一	6	東大阪中央RC
平岡 龍人	5	大阪RC	山崎 修一	1	大阪鶴見RC	藤原 英夫	6	東大阪中央RC
榊 彰一	1	大阪RC	山本 隆一	1	大阪鶴見RC	山田 哲男	2	八尾東RC
伊勢本眞裕	1	大阪うつばRC	津野 友邦	1	大阪鶴見RC	大橋 秀造	3	八尾東RC

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
森田 時男	6	八尾東RC	西野 修	3	豊中南RC	黄堂 泰昌	2	箕面RC
宇都宮俊晴	1	豊中千里RC	岡本 眞弘	5	豊中南RC	吉龍 資雄	5	箕面RC
二井 清治	3	豊中南RC	吉田日土光	7	豊中南RC	山下 恵司	6	箕面RC
長谷川龍司	3	豊中南RC	北村 恭一	9	豊中南RC	岡内 重信	8	箕面RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2014年12月)。

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
南井 恒治	香里園RC	吉城 直孝	東大阪RC	木本 直弥	大阪アーバンRC
大竹 光明	大阪うつばRC	横山 永知	守口イブニングRC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2014年12月)。

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
戸川 通夫	1回目	茨木RC	岡内 重信	6回目	箕面RC
中嶋 英貴	4回目	大阪鶴見RC	石川 正	3回目	大阪RC
奥山 泰弘	4回目	大阪うつばRC	坂田 英洋	1回目	大阪中央RC
土井 靖士	1回目	大阪うつばRC	中丸 義昭	5回目	大阪南西RC
中西 克巳	4回目	大阪うつばRC	穂山 昌隆	2回目	大阪城北RC
岡本日出士	3回目	大東RC	熊倉 勝敏	2回目	大阪城北RC
樽本 文男	1回目	東大阪RC	白神 正夫	1回目	高槻西RC
向井 伸太	4回目	東大阪RC	永井 和夫	1回目	高槻西RC
杉森 隆志	1回目	東大阪みどりRC	國貞 真司	3回目	豊中南RC
西村 俊彦	1回目	東大阪みどりRC	品川 芳洋	1回目	八尾東RC
浜田 秀雄	1回目	東大阪みどりRC	上田 郁生	1回目	八尾東RC
山本 昌宏	1回目	東大阪みどりRC	大橋 秀造	3回目	八尾東RC
島 啓介	1回目	東大阪みどりRC	奥田 長二	4回目	八尾東RC
山下 恵司	5回目	箕面RC			

2015年 1 月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第 1 組	池田	36	35	2	2	3	-1	5	77.58	67.89	
	池田くれは	28	31	3	4	1	3	3	93.00	87.00	
	箕面	28	29	3	1	0	1	4	77.73	73.33	
	箕面千里中央	23	24	0	1	0	1	4	98.55	90.96	
	豊中	43	44	3	1	0	1	4	91.20	67.94	
	豊中南	27	24	2	0	3	-3	4	74.46	70.10	
	豊中千里	35	36	3	3	2	1	3	81.11	80.11	
	小計	220	223	16	12	9	3		84.80	76.76	
	I M 第 2 組	茨木	26	26	3	0	0	0	4	93.98	82.08
		茨木東	41	41	4	0	0	0	4	76.35	69.89
茨木西		27	27	6	0	0	0	4	85.19	79.54	
千里		36	35	0	0	1	-1	4	85.00	79.71	
千里メイプル		21	23	3	2	0	2	4	89.16	84.33	
摂津		33	34	1	2	1	1	4	90.42	81.77	
吹田		60	63	10	4	1	3	3	97.70	91.36	
吹田江坂		32	33	2	3	2	1	3	100.00	94.62	
吹田西		47	47	2	0	0	0	2	100.00	79.20	
高槻		45	48	5	3	0	3	4	89.13	83.04	
高槻東	38	38	2	0	0	0	4	95.78	91.08		
高槻西	21	20	0	0	1	-1	4	98.75	80.00		
小計	427	435	38	14	6	8		91.79	83.05		
I M 第 3 組	大東	39	41	0	2	0	2	3	100.00	93.22	
	大東中央	27	27	10	1	1	0	4	73.07	67.37	
	枚方	43	45	0	3	1	2	4	91.57	84.39	
	門真	31	31	5	1	1	0	4	96.67	86.83	
	交野	33	32	1	0	1	-1	4	80.25	77.02	
	香里園	16	19	1	3	0	3	3	98.03	86.59	
	くずは	49	51	0	3	1	2	4	82.29	75.05	
	守口	41	41	4	1	1	0	4	85.90	78.84	
	守口イブニング	27	26	4	0	1	-1	4	78.85	70.19	
	寝屋川	43	43	5	0	0	0	4	90.12	83.14	
四條畷	12	4	0	0	8	-8	2	100.00	100.00		
小計	361	360	30	14	15	-1		88.80	82.06		
I M 第 4 組	東大阪	73	74	0	1	0	1	4	84.34	77.92	
	東大阪中央	27	26	0	1	2	-1	3	83.33	80.89	
	東大阪東	60	63	5	4	1	3	3	92.27	74.07	
	東大阪みどり	27	27	1	1	1	0	3	75.31	65.43	
	東大阪西	31	31	0	1	1	0	3	96.34	79.32	
	大阪柏原	31	31	2	0	0	0	4	84.94	83.94	
	大阪ネクスト	18	19	8	1	0	1	4	68.00	55.00	
	八尾	59	57	0	1	3	-2	4	79.59	76.35	
	八尾中央	16	16	0	0	0	0	3	85.71	78.57	
	八尾東	25	27	1	2	0	2	4	76.46	73.24	
小計	367	371	17	12	8	4		82.63	74.47		

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第 5 組	大阪中央	46	53	7	7	0	7	4	85.72	74.09
	大阪堂島	31	27	2	0	4	-4	3	85.18	80.24
	大阪北	188	190	0	7	5	2	4	75.41	62.12
	大阪北梅田	50	56	5	7	1	6	2	84.82	80.36
	大阪西	75	79	0	5	1	4	3	87.03	77.22
	大阪大淀	38	37	0	1	2	-1	3	90.10	87.13
	大阪リバーサイド	35	33	6	0	2	-2	4	83.29	76.08
	大阪西北	49	50	0	2	1	1	3	84.26	76.85
	大阪そねざき	42	40	23	1	3	-2	4	99.37	87.50
	大阪梅田	20	25	1	6	1	5	4	88.17	83.86
大阪梅田東	34	35	0	3	2	1	4	83.57	67.14	
大阪ユニバーサルシティ	35	34	5	0	1	-1	4	82.81	69.53	
小計	643	659	49	39	23	16		85.81	76.84	
I M 第 6 組	大阪	261	273	3	19	7	12	4	74.47	55.57
	大阪東	119	126	0	9	2	7	4	91.85	75.83
	大阪東淀ちゃやまち	29	29	3	0	0	0	3	71.13	60.06
	大阪城東	42	45	5	4	1	3	4	85.80	76.25
	大阪中之島	27	29	1	3	1	2	4	80.17	73.27
	大阪大手前	34	35	5	2	1	1	4	91.38	78.85
	大阪城北	43	49	3	6	0	6	4	93.18	85.18
	大阪天満橋	62	62	0	2	2	0	4	82.43	78.14
	大阪鶴見	30	33	2	3	0	3	3	79.05	74.53
	大阪淀川	28	31	4	3	0	3	4	89.51	73.23
新大阪	33	32	1	0	1	-1	4	88.29	83.60	
小計	708	744	27	51	15	36		84.30	74.05	
I M 第 7 組	大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	4	87.00	60.00
	大阪御堂筋本町	57	56	2	1	2	-1	4	84.75	71.43
	大阪南	152	164	0	14	2	12	4	85.14	77.45
	大阪難波	53	51	0	0	2	-2	4	88.54	79.85
	大阪なにわ	24	25	3	2	1	1	4	87.66	82.62
	大阪南西	14	14	3	0	0	0	3	84.62	81.20
	大阪西南	96	100	24	6	2	4	4	91.58	70.06
	大阪船場	40	40	2	0	0	0	3	94.33	81.00
	大阪心斎橋	38	37	0	1	2	-1	4	98.65	89.85
	大阪うつば	33	35	3	2	0	2	4	90.31	80.96
小計	533	548	40	27	12	15		89.26	77.44	
I M 第 8 組	大阪平野	31	37	3	6	0	6	4	98.53	91.80
	大阪イブニング	12	12	2	0	0	0	4	91.67	83.33
	大阪城南	50	50	0	1	1	0	4	100.00	88.96
	大阪咲洲	17	17	1	1	1	0	3	90.19	72.54
	大阪天王寺	55	59	0	4	0	4	4	89.23	82.28
	大阪帝塚山	51	49	4	0	2	-2	3	91.58	86.05
	大阪東南	48	46	0	0	2	-2	4	95.65	70.75
	大阪アーバン	26	27	7	1	0	1	4	90.74	86.11
	大阪みおつくし	30	26	15	1	5	-4	3	64.10	58.98
	小計	320	323	32	14	11	3		90.19	80.09

合計	クラブ名	7月期初 会員数	1月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	82	3579	3663	249	183	99	84	87.2	78.1

文庫通信 (329号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

■「アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯と

その学説の特質について—純粹理論の立場から—

小堀憲助 2009 54p (純粹ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学)

■「職業奉仕を考える」

田中作次 2014 3p (D.2770月信)

■「職業奉仕は日本が元祖 土屋元作」

塚原房樹 2014 1p (D.2510月信)

■「『職業奉仕』知る(to know)と成る(to be)」

塚原房樹 2014 1p (D.2510月信)

■「職業奉仕月間によせて」

池田徳博 2014 1p (D.2800月信)

■「てんびんの詩」

久野 薫 2014 1p (D.2680月信)

■「ロータリーの目的」

久野 薫 2014 1p (D.2680月信)

■「職業奉仕とは」

深川純一 尾道・尾道東RC 2014 20p

[上記申込先：ロータリー文庫]

■「超入門 職業奉仕の入口」

村井總一郎 2014 36p

[上記申込先：早川和男 FAX (052) 783-3818]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

大西直人 会員（高槻RC）

2015年2月7日 逝去（享年58歳）

お知らせ

■2013-14年度「活動報告書」訂正

ローターアクト委員会

誤：直前委員長 池田 佳弘（茨木RC）

正：直前委員長 池田 佳弘（大阪梅田RC）

■ホームページアドレス変更

八尾中央ロータリークラブ

（新）<http://yaocentrc.sakura.ne.jp/>

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉	博朗
地区代表幹事	川上	富清
地区副代表幹事	新井	文三
事務局長	栗正	久美
事務局員	井上	望美
	加茂	春日
	船橋	美紗子
	杉本	亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー第 2660 地区
全 82 クラブ共同奉仕プロジェクト

ロータリーフェスティバル

Rotary College

新たなロータリー像にチャレンジ

各種フォーラム
ロータリーを広く、深く学ぶ
ロータリー学習塾

for 中之島まつり

5月3日～5日、中之島まつり会場で開催

ロータリー PLAZA

82 クラブ共同奉仕事業

9:00～10:00 ロータリアンによる大行進パレード

ロータリー愛のパレード

11:00～12:00 キッズダンスフェスティバル

Kids Dance Festival

15:00～17:00 危険ドラッグ撲滅公開セミナー

危険ドラッグ撲滅サミット

18:00～20:00 チャリティー募金コンサート

チャリティーコンサート

2015年2月14日現在、イベントタイトル、時間配分につきましては未確定です。

とき 2015年5月5日(火) 時間 9:00～20:00 場所 大阪市中央公会堂

Light Up Rotary, Light Up Osaka
考えよう子供たちの未来を

加藤 ヒロユキ

水谷 修
撮影 疋田千里

SO.ON project





国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp